

特集 まちは大きな博物館 ～プチミュージアムの郷を目指して～	2
春になったら一年生	6
人の間に Vol.21 和紙づくりの匠	10
平成19年度スポーツ表彰	12
第1回議会臨時会報告	13
まちの出来事 しかたの風 in のと/アマメハギ/起舟 /立志の集い/自衛隊入隊者予定激励 会など	14
くらしの掲示板 お知らせ/募集/催し/相談/ 国民年金のはなし など	16
能登野菜 文化&スポーツ案内・結果	20
図書館・児童館案内 遊々能登～奥能登イベント情報～	21
安心安全まちづくり/入札結果	22
健康インフォメーション	24
有線テレビ番組案内	26
こせきのまど/寄付/人口動態	27

◀今月の表紙

1月24日、卒業を控えた柳田中学校の3年生が、小間生公民館で紙すきに挑戦しました。生徒たちは「みわ会」の指導を受けながら、世界で一つ、自分だけの卒業証書を自分の手で作り上げました。(関連記事10ページ)



# まちは大きな博物館

プチミュージアムの郷を目指して

**町**の最上位計画「能登町第1次総合計画」は、未来を語る会の開催、審議会委員の公募、まちづくりのアイデア募集など町民の皆さんの意見や知恵を取り入れながら平成18年9月に策定されました。

『プチミュージアム』は、応募されたアイデア(特別賞を受賞)から総合計画に盛り込まれたもので、住民主体のグループが、施策の実現に向けてエンデバーファンド21の助成を受けながら取り組んでいます。

## 平

成18年2月11日、民家の土蔵に眠る古文書や書画などを地域振興に生かそうと「民有『歴史文化』資産の保存活用を考える会」(以下考える会)が発足しました。町総合計画審議会で公募委員を務め、まちづくりのアイデア特別賞「プチミュージアムの郷プロジェクト」を提唱した、考える会事務局の中 與七郎さん(61) 〓松波〓は「内容は面白いが実現は困難」という評価を受け「実現が難しいからこそ、どこにもないオンラインになりうる」と考えていました。そして内浦町史の編集委員だった金七 修さん(79) 〓松波〓が中さんの構想に賛同。「ぜひ一緒にやろう」ということになり、金七さんが地元有志に呼びかけての発足でした。

**プ**チミュージアムとは、能登各地に眠る個人所有の歴史文化資産を民家や店舗の一角に展示するミニ博物館のことです。考える会では、点在するプチミュージアムを一つのパッケージとして展開するため、50館を目標に掲げています。そして観光客がプチミュージアムを巡ることで、

町での滞在時間を増やし、能登町の豊かな自然にも触れる「自然と歴史文化の融合」も目指しています。プチミュージアムは「奥能登トリビア蔵」と名付けられ、平成18・19年度の2年間で4館がオープン。整備にはエンデバーファンド21が活用されました。また、考える会の活動は「いしかわ地域づくり表彰」を受賞するなど、積極的に地域づくりを行っている団体として評価されました。

## 住

民主体のまちづくりを支援する「公益信託 能登町エンデバーファンド21」は、旧能登町が始まってから12年目を迎えます。過去にはグリーンツーリズムの「春蘭の里実行委員会」や「マルガージェラート」なども助成を受けています。今年度は考える会のほか、環境保護活動や特産品の研究開発などを申請した7団体に合計1330万円が助成されました。このうち考える会の助成額は、昨年度と同額の220万円。今年度整備した2館のうち、1館は店舗建て替えに伴う自費整備とし、旧松波駅を再利用した「松波城址情報館」の整備に活用しました。



### 能登町第1次総合計画

第5章 創造性と元気溢れるまちづくり【教育・文化・スポーツ】

#### 第3節 地域文化の振興

施策区分 地域文化の伝承・活用

施策内容 伝承講座の開設/郷土芸能発表の場の整備

民有歴史文化資産の保存・活用

プチミュージアムの整備、ゾーン設定による意識啓発、伝統的建築物の保存



## ● INTERVIEW

民有「歴史文化」資産の保存活用  
を考える会 事務局  
**中 與七郎さん (61歳・松波)**  
Naka Yoshichirou

### 能登にしかないオンラインワンを 都会に発信するために

わたしは以前から「能登のオンラインワンを都会に発信していかねければ」と考えていました。自然やおいしい料理は東京の近くにもあります。農村・漁村の原風景や歴史文化が、能登にしかないもの、能登のオンラインワンになると考えるようになりました。そして総合計画のアイデア募集で「プチミュージアムの郷プロジェクト」として考えをまとめて応募しました。結果は特別賞ということでしたが、このプロジェクトはぜひやって

### 従来型から脱却できる プチミュージアムのメリット

従来の手法であれば、歴史文化資産の活用という大規模な博物館に資料を集約するということになります。しかし多大な建設費と維持費を使っても、観光客はバスで来て短時間見るだけで移動するということとなります。

プチミュージアムのメリットとしては、民家や店舗の一部に個人所有の資料を展示することで、資料収集の必要がなく、設置費も非常に少ないこと。館主は定年後のボランティアや家の留守を兼ねた人なので人件費が不要だということ。お茶を飲みながら資料について双方向で説明することで、観光客には仮想体験を、館主には生きがいある定年後を提供できるということ。近所にも開放することで、地域の交流の場として地域コミュニティが活性化すること。そして自分たちの地域のルーツを知ることや地域愛が育まれ、過疎脱却につながるなどがあります。

プチミュージアムとして最初に開館した「時間旅さねより館」は珠洲市上戸の土豪、真頼家300年間の古文書を展示してありますが、もともとわたしの家の土蔵に眠っていたものでした。以前から何かあるとは聞いていましたが、実際こーやって光を当てなかったら土蔵の取り壊しと一緒に捨てられていたかもしれ

#### 奥能登トリビア蔵 #4

##### 松波城址情報館

松波口22-2(旧松波駅) ☎72-0085 平日9:30~17:30  
休日14:00~17:30 不定休(要電話確認) 入館無料  
畠山氏のルーツや松波城について解説。城址公園探索の前に



奥能登トリビア蔵 #3

##### 野鍛冶館ふくべ鍛冶

宇出津新23(新町通り) ☎62-0785 7:30~19:30 入館無料  
創業100年。漁師の必須アイテム「マキリ」や「イカさき包丁」、昔ながらの鍛冶道具なども展示

#### 奥能登トリビア蔵 #2

##### あまめはぎ館

秋吉6-70(あまめはぎ公園近く) ☎72-8080 10:00~18:00  
不定休(要電話確認) 入館料200円(飲物付)  
国指定文化財「あまめはぎ」に使われる用具や写真を展示



奥能登トリビア蔵 #1

##### 時間旅さねより館

松波口-17-1(旧松波駅近く) ☎72-0085 平日9:30~17:30  
休日14:00~18:00 不定休(要電話確認) 入館料200円(飲物付)  
珠洲市上戸の土豪、真頼家300年の盛衰の記録を展示

いきな思っていました。そんな時に金七 修さんに巡り会って、「会を作って一緒にやろう」ということになりました。歴史文化資産には研究、保存、活用の視点があり、会員はそれぞれ重視する視点が違いますが、最終的には「奥能登の魅力発信する一つのツールにしよう」ということでまとまっています。

### 一つの歴史文化資産を パッケージできれば面白い

東京から見ると能登半島は真っ白だと思えます。この辺に何か面白い物があるということは何とか見せたいと頑張っても、一個一個では見えない。そこで「パッケージ」という考えになります。「パッケージ」とは「能登井」のようなもので、能登井というネーミングがあつて、そこに50以上の井があるから存在感がでます。歴史文化でも同じことができる。考え「奥能登トリビア蔵」というネーミングで50館を目標に掲げているのです。数については十分実現可能ですが、資金の面でも十分な時間がかかることになりま。現在はエンデバーファンド21の助成を受け、少しずつ実現しているわけですが、単純に今のペースなら25年かかります。ですが25年かかっても奥能登に人が住まなくなるといふことにならないかと、それはすばらしいことじゃないかと思っています。

せん。震災で傾いた土蔵が取り壊されるということもあると思えますし、世代交代によっても歴史資料が捨てられることもあると思えます。この事業が眠っている資料に光を当て、大切に保存・継承されるきっかけになればと考えています。

### 地域共有の財産を地域全体で 情報発信するために

松波城址情報館は、旧松波駅を再利用しました。今回は、中学生にもわかるよう体系化した情報を提供しようと考えて会でも1年間勉強しました。松波城址公園は何も知らなければただの山でしかありません。500年前にこの地に何があったのかを知ることで城址公園の価値も高まり、公園探索も楽しくなるのではないのでしょうか。

松波城址は民有というよりは地域全体で共有している歴史文化であり、旧松波駅は城址公園の入り口でもあります。駅舎を再利用することによって町がきれいになり、地域の人やこの場所を訪れる人たちにも喜んでもらえると思っています。そしてこの情報館が今後、地域共有の資産を情報発信していく試金石になればと期待しています。

今後の課題はたくさんありますが、最も大切なことは地域の理解だと考えています。ご意見や情報提供などがあれば、考える会事務局(☎72-0085)までご連絡いただければと思います。

### プチミュージアムの郷プロジェクトから学ぶ 公益信託能登町 エンデバーファンド21

「内容は面白いが実現は困難」という評価を受け「実現が難しいからこそ、どこにもないオンラインワンになりうる。「実現したい」と考えた。

「○○○したい」と考えたときに、どうすれば「○○○」を達成できるか。さらに資金をどうするかということがポイントになってきます。そこで住民の皆さんの「○○○したい」を資金面から応援するのが「公益信託能登町エンデバーファンド21(以下エンデバーファンド)」です。

今では随分と定着した感がありますが、まだ申請することに敷居が高いと思う人もいるのではないのでしょうか。当然、申請するに当たってはエンデバーファンドの趣旨に沿ったものである制約を受けますので、敷居が高いと思われるかもしれませんが、しかし、「○○○したい」という情熱と意気込みを消したくはありません。

——エンデバーファンド21の助成を受け、少しずつ実現している。

小さな「○○○したい」という情熱と意気込みが、大きく町を動かすこと

になるかもしれません。「奥能登トリビア蔵」と名付けられたプチミュージアムのパッケージは、能登町全体を大きな博物館として町を動かそうとしています。その活動資金のうち、奥能登トリビア蔵のモデル館整備にエンデバーファンドがバックアップしてきました。

### 平成20年度の申請書受付中

エンデバーファンドは現在、平成20年度の「○○○したい」をバックアップすべく申請を受け付けています。小さな「○○○したい」という情熱と意気込みを、まずは申請書という形に変えてみませんか。

申請書の書き方や企画内容が対象になるかわからない場合などは、お気軽にご相談ください。そして皆さんの「○○○したい」という情熱と意気込みをぜひ聞かせてください。

〈申請期間〉3月31日(月)まで  
〈申請書の配布場所〉  
興能信用金庫本店、町内各支店  
※能登町ホームページからもダウンロードできます。

企画財政課 ☎62-85003  
興能信用金庫本店 ☎62-11222  
Kikakuzaisei@town.noto.lg.jp  
興能信用金庫本店 ☎62-11222  
㈱しんきん信託銀行  
☎03-35564-8465